

基本法施行をうけた取組み

(一社) 日本認知症本人ワーキンググループ (JDWG)

「認知症になってからも希望と尊厳を持って暮らすことのできる社会」を創り出すことを目的に、これまで取り組んできた活動を、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」(以下、基本法)施行を核に、さらに展開をすすめています。

●本人発信を自分たち自身も続け、各地での展開を後押ししています。



本人ミーティングの場を活かして、製品サービス開発に参画する動きもすこしずつ増えてきています



本人によるピアサポート活動が病院で実施される動きも増えてきています



全国版希望大使と、活動支援者が本人発信や、地域版希望大使の今後の活動のアイデア等を話しあい、動画で発信

●「認知症施策推進関係者会議」に参画しています。

本人委員として3名が参画し、基本法をもとに新たな展開を生み出していくための基本計画となるよう、JDWGの本人たち、本人とともに活動をしている自治体担当者・関係者・住民の声をもとに、提案を続けています。

今後、各地で策定される基本計画に、協力し、評価フォローを行っていきます。

2018年に発表した「認知症とともに生きる希望宣言」を届ける「希望のリレー」活動を様々な人と一緒に進めてきています。認知症発症前も、発症後も、症状が進行する中でも、国民だれもが、希望をもって暮らしていける価値観を共有した活力ある社会にむけて、医療介護推進会議を構成するさまざまな団体のみなさまとともに、私たちも、引き続き力を尽くしていきます。

認知症とともに生きる 希望宣言

- ① 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- ② 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- ③ 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- ④ 自分の思いや既往を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
- ⑤ 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

「希望のリレー」

- * 全国の認知症の本人に「認知症とともに生きる希望宣言」を届け、
希望を持って暮らしていく人を増やしていく。
- * さまざまな領域の人たちに「認知症とともに生きる希望宣言」を届け、
賛同・活動の輪を広げていく。
- * さまざまな領域で、
認知症、認知症の人への見方・関わり方を変えていく。

